

小規模特認校説明会 当日の質疑応答及びフォームからの質問への回答

1 小規模特認校への通学・就学について

	質問	回答
1	小規模特認校の、学区外からの通学方法についてお伺いします。	学区外からの通学の場合、原則保護者の送迎が必要となりますが、小規模特認校では、保護者の負担と責任において、公共交通機関を利用した通学も許可しております。 一方で、朝7時15分からの朝見守り事業や、放課後の児童クラブ利用も可能ですが、この場合は預かり場所まで保護者の送迎が必要です。
2	今後、小規模特認校が増える予定はありますか。 住んでいる地区から、登校の時間帯は両校とも車での送迎に30分以上かかってしまいます。	現在、市内の学校で、小規模特認校制度を新しく開始する予定はございません。
3	谷田部南小学校の今の2年生児童の男女比について教えてください。	2年生は男子児童4名、女子児童5名、合計9名です。
4	特別支援級の在籍児童数をクラス別(知的、情緒自閉)に教えてください。 また、特別支援級に対する、各学年ごとの募集人数も教えてください。	令和8年8月1日現在の在籍者数は、谷田部南小学校が自情学級3名、知的学級2名、栗原小学校が自情学級1名、知的学級7名となっています。 各学校において知的学級、自情学級ともに原則1学級のみを設置を上限とし、それ以上の学区外からの受け入れは行いませんので、学年ごとではなく、全学年で各学級8名が定員となります。
5	現在の在籍校で通級指導教室を利用していますが、小規模特認校でも同様に利用できますか。 また、支援級在籍の判定が変わることはありますか。	両校とも通級指導教室の設置はありません。 また、小規模特認校就学を理由に支援級に関する判定が変わることもありません。 その他についても、基本的に他校と同じ基準での運営となります。
6	見学会の際に支援学級の見学はできますか。	見学会では授業風景又は行事風景を見学いただく予定ですが、現在のところ、支援学級の見学は予定しておりません。

2 小規模特認校の教育活動・学校生活について

1	学習プランを子ども自身で立てるとのことですが、不得意分野を避けたりなどの偏りが生じてしまうことはありませんか。	はじめから学習計画をしっかりと立てられる児童は少なく、教師が計画の例を示したり、フィードバックを行ったりしながらよりよい学習計画が立てられるようにしていきます。子どもの不得意な部分もカバーできるよう、サポートしながら進めていきます。
2	小規模特認校は考える時間が多く、各教科の授業時間が少なくないと思うが、授業時間は足りているのでしょうか。	国の定める各教科等の標準授業時数は全校で遵守しており、小規模特認校も基準を満たしているため、授業時数が不足するものではありません。
3	デジタル教科書の利用状況を教えてください。	デジタル教科書については、市内のほかの学校と同様に利用しております。 教員用のデジタル教科書は全職員が使用し、児童用のデジタル教科書は、5・6年生の算数と外国語で利用可能となっています。

4	卒業後の進路や中学校生活での環境変化に対して、どのように考え指導していますか。	学園内の小中学校が連携しながら、学ぶ場を創出しています。また、中学校でも一斉指導だけではなく、個人やグループでの学習も数多く行われており、小中での学びが連続する形で学べる環境を整えています。さらに、小規模特認校の特色である異年齢交流を通じて、思いやりやリーダーシップが育まれることで、中学校でもそういった力を発揮して活躍できると考えています。
5	AI技術の学習への活用状況を教えてください。	AI技術については、市内のほかの学校と同様に活用しています。第5学年以上において、教育特化型AIを用いてAIの良さや課題を学び、自分の学習に有効に生かせるようにしていきます。
6	学習の評価はどのように行い、通知表はどのような形で作成していますか。	学習の評価や通知表の作成については、市内のほかの学校と同様に実施しております。

3 小規模特認校の行事・保護者活動等について

1	運動会や修学旅行、宿泊学習などの行事は小規模特認校でも実施しているのでしょうか。	行事計画は子どもと教師が話し合って作成し、運動会、修学旅行、宿泊学習のいずれも実施しています。栗原小では、今年度は第6学年の修学旅行を6月にさくら小と合同で実施しました。第5学年の宿泊学習は11月にさくら小と合同で実施予定です。運動会及び1～4年の校外学習は栗原小単独で行っています。谷田部南小では、第6学年で、10月に修学旅行を予定しています。第5学年は、例年同じ学園内のみどりの南小学校と宿泊の日程を調整し、宿泊先の施設で交流しています。
2	PTAの主な活動、協力が必要な場面があれば教えてください。毎月の教材費や行事費などはどれくらいなのでしょう。公立と同じでしょうか。	PTAの活動について、活動内容は各学校で異なりますが、具体的な保護者協力の例として、栗原小学校では、除草作業、運動会の準備などご協力いただいています。谷田部南小学校では朝の登校見守り、秋の行事「秋を楽しむ会」での保護者企画、8月の奉仕活動（草刈りなど）、コミュニティスクールのボランティア活動などを行っています。毎月の学校徴収金について、小規模特認校であることで、特別な負担を求めることはございません。他の公立校と同様に各校で決定されます。
3	学区外の条件にもある保護者の協力とは、どの程度のものが求められますか。	小規模特認校では、保護者・地域・学校が協力し、子どもの学習環境の充実を図っています。活動内容は各学校で異なりますが、栗原小学校では、保護者の方に除草作業、運動会の準備などご協力をいただいています。谷田部南小学校では朝の登校見守り、秋の行事「秋を楽しむ会」での保護者企画、8月の奉仕活動（草刈りなど）、コミュニティスクールのボランティア活動などに協力いただいています。

4 その他（小規模特認校の課題、放課後児童クラブ、教員への研修等について）

1	説明資料のスライドは後で配布されますか。	つくば市ホームページで公開しております。
---	----------------------	----------------------

2	今年度の小規模特認校での課題とその対応例を教えてください。	年度始めと比べ、子ども同士の繋がりが豊かになったり、自律的な学習態度が育ってきたりしており、現時点で大きな課題は見受けられませんが、今後も児童の様子を注視し、課題の発見・解決に努めていきます。
3	小規模特認校の取り組みは他の学校と比べて特殊だと思いますが、教職員の異動の際に、学校の取組を理解してもらうための研修などは実施していますか。	小規模特認校の取組については、教職員の異動前後に必要な研修を行っています。
4	公営の学童保育はありますか。	谷田部南小学校、栗原小学校の両校に公設公営の児童クラブが設置されています。